

哲學研究

第四十卷 第一冊

第四百五十九號

昭和三十四年一月二十日發行

存在論的證明……………

チャールズ・ハーツホーン
野田又夫譯

— まだ論破されていない四つの形式 —

時と永遠……………

武藤一雄

— 聖書の時間論についての一考察 —

カントにおける「直観」について…………… 観山雪陽

第九回國際宗教學宗教史會議について…………… 有賀鐵太郎

彙報

新着外國雜誌所載論文一覽

京都大學文學部内

京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
- (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
- 委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、二二〇圓(會誌十二冊分を含む)を前納する
- 但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

本	武	松	蓮	野	西	長	土	田	武	高	園	島	重	柿	白	上	井	石	池	有
吉	藤	尾	實	田	谷	尾	岐	中	内	田	原	澤	芳	崎	井	野	島	田	田	賀
良	一	義	重	又	啓	雅	邦	知	義	三	太	俊	祐	二	照	尚	勉	義	太	鐵
治	雄	海	康	夫	治	人	夫	郎	範	郎	郎	夫	郎	一	尚	夫	勉	仁	祐	郎

No.1, Jan. 1958.

Hadas, M.: Plato in Hellenistic Fusion.

Ferguson, W. K.: Italian Humanism: Hans Baron's Contribution.

Baron, H.: Moot Problems: Answer to Ferguson.

Cochrane, E. W.: The Settecento Medievalists.

Ketcham, R. L.: James Madison and the Nature of Man.

Easton, L. D.: Empiricism and Ethics in Dietzgen.

JOURNAL OF THE HISTORY OF IDEAS, Vol. XIX,

No. 2, Apr. 1958.

Skulsky, H.: Aristotle's Poetics Revisited.

Foland, F.: The Impact of Liberalism on Nueva España.

Fisher, M.: The Pattern of Conservatism in Johnson's

Rasselas and Hawthorne's Tales.

Chambers, C. A.: The Belief in Progress in Twentieth-

Century America.

Wollheim, R.: Democracy.

JOURNAL OF THE HISTORY OF IDEAS, Vol. XIX,

No. 3, Jun. 1958.

Mullett, Ch.: Lucretius in Chio's Chariot.

Murdoch, R. T.: Newton and the French Muse.

Stewart, K.: Ancient Poetry as History in the Eighteenth

Century.

〔以下次號に掲載〕

前 號 目 次

時間と自由……………島 芳夫

學としての形而上學は可能か…阿部 正雄

——カント「純粹理性批判」の窮極課題——

カントの感情について……………大塚 恵一

——「道徳性」の意味内容——

偶然への問……………小林 幹夫

——偶然性の學としての形成を中心として——

書評 鈴木亨君の「實存と勞働」……………島 芳夫

を讀んで
第三十九卷總目次

次 號 論 文 豫 告

ゲーテに於ける人間像……………フリッツ・ヨハヒム・
フォン・リンテレン 谷 友幸 譯

知るごとと認めるごと……………森口美都男

ラシヨナリスムの學問理念……………三嶋 唯義

——デカルトとマルブランシュ——

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、二二〇圓又は半年六一〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番創文社）宛に願ひます

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、（一年分又は半年分）會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十四年一月十五日印刷
昭和三十四年一月二十日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會

編集代表 京 都 大 學 文 學 部 内

發行人 土 岐 邦 夫

印刷人 久 保 井 理 津 男

印刷所 堀 内 文 治 郎

發 行 所 會 社 式 創 文 社

東京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 九 ノ 内 (23) 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、定價一二〇圓、送料・八圓）前金にてお送り下さい

昭和
三十四
年一月
十五日
印刷
（每月
一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XL

January, 1959

No. 1

Four Unrefuted Forms of the Ontological Argument

.....Charles Hartshorne

Zeit und Ewigkeit

— *Eine Betrachtung über die biblische Zeitauffassung* —

..... Kazuo Mutō

Über die „Anschauung“ bei Kant.....Setsuyō Miyama

On the Ninth International Congress

for the History of Religions..... Tetsutarō Ariga

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定
價
一
二
〇
圓

IBM 6427